

## 品種特性



### 濃緑、小葉立性で 管理作業が容易

「名月一文字」は、草姿が濃緑で小葉立性のため土寄せや薬剤散布などの管理作業が容易に行えます。草丈は85～95cm、葉鞘部は35～40cmとコンパクトで風による倒伏の被害が少ない品種です。

### 首しまりにすぐれ、襟部の ばらけが遅いため圃 性にすぐれる

首部のしまりがよく、襟部のばらけが遅い品種です。特に高温期に襟部がばらけると、そこから軟腐菌が侵入し発病しやすくなります。

### そろい性と耐病性に すぐれる

本種はクズの発生が少なく、Lサイズ中心によくそろい秀品率の高い品種です。さび病やべと病にも強いですが、予防を中心とした薬剤散布は必要です。

### 出荷調製が容易で、 良食味

皮むきが容易で、葉身も短い  
ためごみの量を軽減できます。  
また、黒柄系ながら肉質は緻密  
で繊維質は少なく、味が濃いた  
め、焼き物や煮物料理に適しま  
す。

### ポイント

- ✓濃緑、小葉立性で管理作業が容易。
- ✓首しまりがよく、圃性にすぐれる。
- ✓追肥を少量ずつ施す。
- ✓酸素供給剤の活用。

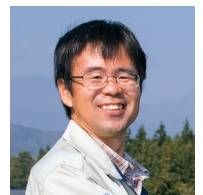


発表!

タキイ交配

ネギ

「めいげついちもんじ名月一文字®」



茨城研究農場  
あめむらたくお  
雨村 拓央

## 濃緑・小葉で耐暑性にすぐれる 夏秋どり1本ネギ

そこで、葉身を短く小葉立性にし、濃緑、硬葉で、さらには襟部のばらけを遅くすることで倒伏や耐暑性にすぐれる品種の育成を目標としました。それらを北海道から九州まで幅広い産地、作型で試験を重ね、このたびタキイ交配「名月一文字」と命名し、発表することとなりました。

ネギは高温・多湿を嫌う作物のため夏秋どりの中心産地は、北海道や東北などの冷涼な気候の産地に集中していますが、近年の温暖化により、それらの地域でも耐暑性にすぐれる品種が必要となります。さらに台風  
の発生により大きな被害を受けないよう、できる限り葉(葉身)をコンパクトにし、風による倒伏が少ない品種が求められます。

2017年は秋台風の影響で、産地の多くが被害を受け、その結果ネギの価格が高騰し、春まで高い価格で取引されました。ここ数年の市場価格を見てもネギは価格の暴落が少なく、比較的高い価格で取引されています。儲かる野菜の一つとして、新たに作付けする産地もあり、全国的に見ると作付面積は微減でとどまっています。

## 栽培ポイント

### 1 土寄せ・肥培管理

生育に合わせた緩やかな持続的な肥効体系が効果的です。有機系肥料や緩効型の肥料を組み合わせながら、追肥を少量ずつこまめに施すことが上作のポイントです。

特に高温期はネギの活性が弱まるため、土寄せや多量の施肥はストレスとなり、軟腐病などの発生を助長します。また高温期に襟部が隠れるまで土寄せを施すと、襟部から病原菌が侵入し、病害のリスクが高まりますので、土を寄せすぎないようにすることも重要です。

### 2 病害対策

耐病性に関しては、品種間差もありますが、基本どのネギも罹病しますので、予防を中心とした薬剤散布が重要です。高温期に問題となる軟腐病に関しては、治療剤はないため高温期を迎える前に、土寄せの際に「オリゼメート粒剤」などを混和することが必要です。

さらに高温期はネギアザミウマなどの害虫も発生しやすくなり、商品価値も下がりますので、粒剤、水和剤などを組み合わせながら発生がひどくなる前に抑えることが重要です。

## おすすめ資材

ネギの根は酸素要求量が高いため、土寄せすると根は上部の方に伸長します。近年の異常気象、ゲリラ豪雨によりネギの根が冠水し腐敗する現象が各地で問題になっています。酸素供給剤のひとつである「オキソパワー-5」は、約5カ月と酸素供給期間が長いので長期にわたり、根の呼吸を助け根張りをよくし、作物の健全な生育を助けます。元肥として10a当たり40~60kg全面散粒混和で利用するのがおすすめです。

亜リン酸肥料「ホストマト」も発根を促す肥料としておすすめです。



↑オキソパワー-5



↑ホストマト

## 「一文字」「ホワイト」シリーズそれぞれの使い分け

「ホワイトスター」に代表されるホワイトシリーズは、伸長性、肥大性にすぐれるなど生育が旺盛で、播種から収穫までの日数が短いタイプの品種です。夏どりや年内どりには「ホワイトスター」を、耐寒性が必要な作型では「ホワイトソード」をおすすめします。

一方、小葉で緩やかに生育し、襟部のばらけが遅く在圃性にすぐれる一文字シリーズは、現在晩抽系の「初夏一文字」と今回発表の夏秋どり種「名月一文字」の2品種ですが、今後、秋冬どり種を発表し、シリーズを充実させていきます。

### 根深ネギ(春まき秋冬どり)特性表

品種名	系統	草姿	草勢	分けつ	葉鞘部(cm)	耐暑性	低温伸長性	耐寒性	食味
名月一文字	黒柄	極立	○	無	35~40	◎	△	△	◎
ホワイトソード	合黒	立	◎	無	40~48	△	◎	◎	◎
ホワイトスター	合柄	立	◎	無	40~50	◎	◎	○	◎

## 作型

本種は全般緩やかに生育するため収穫までの日数を長く確保することが必要です。また高温期でも緩やかに生育する一方、晩秋から冬場の低温期にかけて生育が鈍り、休眠に入るタイミングが秋冬系の品種より早くなります。したがって秋冬どりの播種期で栽培すると軟白長が足りなくなるため注意が必要です。一般地では11月まで、冷涼地では10月までに収穫を終えるよう播種・定植時期を計画します。

### 「名月一文字」適期表

月	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地													
中間・暖地													

## 「名月一文字」大分県での現地検討会でも注目！

2017年11月7日、大分県豊後高田地区において豊後高田市主催「名月一文字」の検討会が開催されました。当日は、生産者30名、大分県北部振興局や豊後高田市役所職員ほか、JAおおいた、県内の種苗店などから合わせて約40名が参加されました。

豊後高田地区は栽培面積400haの生産地で、海沿いの砂地の産地であり、地温が上がりがやすくネギに耐暑性が求められる地域です。

「名月一文字」が他品種に比べ欠株の少ないことやその形状安定性、軟腐病の発生が少ない点などを見ていただくことができました。

また台風の影響も大きな地域であることから、「名月一文字」が小葉であることへの関心も高かったようです。



← 他社品種(上)と「名月一文字」を実際比べて、欠株の少なさや形状安定性、軟腐病の少なさなどに高評価をいただいた。